

プログラム責任者からのメッセージ

形成外科では全身の体表組織を取り扱うため、解剖学、診断学、治療学など幅広い医学知識が必要となります。一人前の形成外科医になるには、専門医取得後も長い年月が必要です。また、再建手術などでは他診療科医師、メディカルスタッフ、患者様および御家族に対する高いコミュニケーション能力と協調性を身につける必要があり、人間性豊かな医師の育成を目指しています。



形成外科
教授 黒木 知明 (右から2人目)

専門医、指導医取得までのタイムスケジュール

1・2年目	初期研修
3年目	高知大学医学部附属病院
4～6年目	連携施設研修(千葉大学病院、君津中央病院、松戸市立総合医療センター)
7年目	高知大学医学部附属病院、地域医療(3か月程度)、専門医試験(1月)形成外科専門医取得
8年目以降	大学病院、関連施設、大学院、国内外留学、開業などで勤務しながら、サブスペシャリティ分野の専門医・指導医の資格取得を目指す
13年目以降	専門医更新1回(5年)後に指導医取得を目指す なお、形成外科指導医取得には専門医1回以上の更新とサブスペシャリティ2分野以上の専門医取得が必要

取得可能専門医

- | | |
|--|---|
| 日本形成外科学会専門医 <ul style="list-style-type: none"> ●皮膚腫瘍外科分野指導医 ●小児形成外科分野指導医 ●再建・マイクロサージャリー分野指導医 ●日本美容外科学会専門医 | <ul style="list-style-type: none"> ●日本頭蓋顎顔面外科学会専門医 ●日本創傷外科学会専門医 ●日本熱傷学会専門医 |
|--|---|

先輩の声



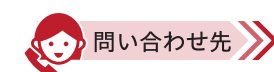
形成外科
田中 浩史郎

特任助教の田中浩史郎です。高知大学形成外科の特色はやはり悪性腫瘍切除後の再建手術が多いことだと思います。中でも頭頸部再建や乳房再建が多く、有茎皮弁をはじめ、マイクロサージャリーまで、さまざまな再建手術を勉強できます。また、形成外科医師は少ないですが、医局内の雰囲気が良いため、学年関係なく、症例の治療方針から自分の進路に至るまで、いろいろ相談しやすいという点も魅力の一つだと思います。



形成外科
横山 卓司

平成27年度卒の横山卓司です。高知大学の特徴として最大の魅力は他科との連携になると思います。大学病院として各科専門性の高い医療を行いながらも各科の連携は強く、原疾患の原因究明や急変など専門的な意見を必要とする際にすぐに意見を聞いて即治療を行うことが可能で、人と人の結びつきの強さをとても感じます。そのため、高知大学形成外科は他の病院施設より乳腺外科との乳房再建、耳鼻科・歯科口腔外科との頭頸部再建など連携手術が多いことが特徴です。



問い合わせ先

■教室名／形成外科
■担当者名／黒木 知明
クロキ トモアキ

■電話／088-880-2375
■メール／im32@kochi-u.ac.jp